

2026 年 7 月 13 日

各 位

SBI ホールディングス株式会社

Solana Foundation

SBI R3 Japan 株式会社

**SBIホールディングスとSolana財団が日本発の
オンチェーン金融市場の創出に向けた戦略的提携を開始
～ 日本発のRWA・ステーブルコインをアジア・グローバルへ展開 ～**

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「SBIホールディングス」）とSolana Foundation（本社：スイス・ツーク、President：Lily Liu、以下「Solana財団」）は、本日、日本発のオンチェーン金融市場の創出に向けた戦略的提携を発表いたしましたので、お知らせいたします。

本提携の一環として、Solana財団はSBI R3 Japan株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤本 守、今後「SBI Solana Global株式会社（仮称）」へ商号変更予定）に参画し、株主であるSBIホールディングスおよび株式会社三井住友フィナンシャルグループ（以下、「SMFG」）とともに、新たな成長戦略を推進してまいります。

・本提携の背景と意義

現在グローバル市場において、ステーブルコインやトークン化現実資産（リアルワールドアセット：RWA）の市場が急速に拡大しており、金融資産の発行・流通・決済がブロックチェーン上で完結する「オンチェーン金融」が、次世代の金融市場インフラとして注目を集めています。

そのような潮流の中で、世界最高峰の処理速度、圧倒的な低コスト、そして世界有数の広大なエコシステムを誇るレイヤー1ブロックチェーン「Solana」の運営・支援を主導するSolana財団は、この領域で極めて重要な存在感を放っています。

日本には豊富な金融資産、多くの市場参加者、そして世界に先駆けて整備された法制度基盤が存在します。本提携の最大の意義は、これらをSolanaが持つ広範なグローバルネットワークへ直接接続し、国内市場を世界の流動性と直結させるにあります。これまでにない新たな「日本発のデジタル金融資産の市場」を創出することで、日本をアジアにおけるオンチェーン金融の中核拠点（ハブ）へと発展させてまいります。

・SBI Solana Globalにおける事業展開

SBI Solana Globalでは、Solanaネットワーク上での展開を前提に、以下領域での取り組みを進める予定です。

- ・JPYSCをはじめとするステーブルコインの発行・流通支援
- ・トークン化RWA（社債、CP、ファンド、不動産等）の組成・流通支援
- ・クロスボーダー決済基盤の構築
- ・機関投資家向けオンチェーン金融サービスの提供
- ・AIエージェント時代を見据えた次世代決済インフラの開発

単なる技術提供に留まらず、発行・流通・決済までを一体で支援することで、日本発のオンチェーン金融市場の拡大を推進してまいります。

・今後の展望

SBIグループとSolana財団は、日本市場を起点として、アジアおよびグローバル市場とのシームレスな連携を推進し、オンチェーン時代の新たな金融インフラの構築・発展に貢献してまいります。

以上

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

SBI R3 Japan 株式会社 メール：info-srj@sbir3japan.co.jp